

『厚岸音頭』の原譜とレコードを 町民ホールに展示

令和元年9月20日に根室市在住の大地みらい信用金庫前理事長の北村信人さんと妻の享子さんが厚岸町役場を訪れ、『厚岸音頭』と『幸せにかける橋』の直筆の楽譜と歌詞が町に寄贈されました。



この曲は、根室市出身の作曲家である飯田三郎氏(1912年～2003年)が作曲されたものです。今回町に寄贈された原譜は、飯田氏と生前から親交のあった北村さんが2001年に譲り受け、長年大切に保管されていたもので、「厚岸音頭にゆかりのある厚岸の皆さんに見てもらえれば」と話してくれました。

厚岸音頭の歌詞に出てくる厚岸大橋は、北海道で最初の海上橋として昭和47年9月に開通しました。『厚岸音頭』と『幸せにかける橋』は厚岸大橋の完成を祝って作られました。

『厚岸音頭』 作詞(合作) 勝又木雨風、飯田三郎
作曲・編曲 飯田三郎
唄 三橋美智也、早坂光枝

『幸せにかける橋』 作詞 横井弘
作曲・編曲 飯田三郎
唄 倍賞千恵子

昭和47年8月号の広報あつけしでは、「厚岸大橋完成記念事業のひとつとして進められてきた『厚岸音頭』と『幸せにかける橋』がこのほど作曲され、厚岸の情緒と風物が多大に吹き込まれている。これらの歌は、町観光協会と大橋完成記念祝賀行事事業協賛会が中心になって製作したもので、昭和47年7月15日に試(視)聴会を開き、参集した人の好評を受けていました。『厚岸音頭』は飯田氏と三喜八千代さんが振り付けしており、関係者は大橋完成祝賀パレ-

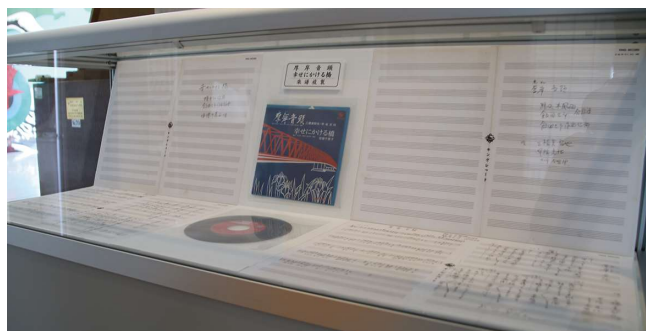
ードに踊りが間に合うようにと、日程を組んで各地区をまわることにしています」と書かれています。昭和47年10月号の表紙では、厚岸大橋の上で厚岸音頭を踊っている町民の皆さんの姿が写されています。



平成22年の厚岸音頭市中パレードでは、厚岸・真龍小学校5・6年生と厚岸・真龍中学校の生徒と教員480人が町制施行110周年記念隊列と初参加し、現在の厚岸音頭市中大パレードへと繋がっています。



厚岸の歴史と文化を伝える貴重な資料として、北村さんから寄贈いただいた『厚岸音頭』と『幸せにかける橋』の原譜を複製したものとレコードを役場1階町民ホールに展示していますので、来庁された際には是非ご覧ください。



●問い合わせ／総務係